

2017～2018年度
国際ロータリー第2510地区ローターアクト

「第30回全国ローターアクト研修会」参加報告書



日 時：平成30年3月17日（土）、3月18日（日）

場 所：茨城県立県民文化センター

ホスト地区：国際ロータリー第2820地区ローターアクト
(茨城県)

【1日目】3月17日（土）プログラム

12:00～ 受付開始

13:00～ 開会式

オープニング	大洗高校マーチングバンド	
点鐘	国際ロータリー第2820地区ローターアクト代表	鈴木 翔太郎 様
開会宣言	国際ロータリー第2820地区ローターアクト幹事	吉原 葵 様
国歌・ローターアクトソング斉唱	ソングリーダー	赤倉 萌 様
ご来賓・参加クラブ紹介	国際ロータリー第2820地区ローターアクト代表	鈴木 翔太郎 様
歓迎の辞	国際ロータリー第2820地区ガバナー	保延 輝文 様
ホスト地区代表挨拶	国際ロータリー第2820地区ローターアクト代表	鈴木 翔太郎 様
ご来賓挨拶	茨城県知事	大井川 和彦 様
ご来賓挨拶	水戸市長	高橋 靖 様
プログラム説明	第30回全国ローターアクト研修会実行委員長	但野 実穂子 様
閉会宣言	国際ロータリー第2820地区ローターアクト幹事	吉原 葵 様
記念撮影		

14:30～ 研修プログラム

- ◆食 「菜海」酒造見学と納豆工場見学
▽食文化の面から魅力を再発見
- ◆自然 「彩街」偕楽園ウォークラリー
▽日本の3大名園の1つ、偕楽園で、梅の香りを味わいながら自然を満喫
- ◆伝統 「財会」笠間焼についての講話と絵付け手ひねり体験
▽世界で1つのオリジナルの器作り
- ◆歴史 「再開」テクノロジーと宇宙開発の可能性
▽茨城の歴史とJAXA講師から夢のある未来を学ぶ
- ◆文化 「際会」カミスガプロジェクトまちづくり講演
▽親興策1人1人がまちのユーザー 昨年地区大会で選ばれたプログラム

18:00～ 懇親会

ニコニコBOX報告		
乾杯	国際ロータリー第2820地区青少年奉仕支援アドバイザー	清水 清 様
スペシャルイベント	お笑いコンビ「カミナリ」による漫才	
HAPPY動画表彰		
地区PRタイム		
中締め	国際ロータリー第2820地区青少年奉仕総括委員長	稲本 修一 様

20:15～ 代表者懇親会

乾杯	国際ロータリー第2820地区ローターアクト代表	鈴木 翔太郎 様
歓談		
中締め	国際ロータリー第2700地区ローターアクト代表	岩本 幸太 様

【2日目】3月18日（日）プログラム

8:15～ 代表者会議

8:45～ 基調講演

「魂を揺さぶる生涯忘れない90分」 ～感動は人を動かす～

木下 晴弘 様

11:00～ 閉会式

開会宣言	国際ロータリー第2820地区ローターアクト幹事	吉原 葵 様
参加者紹介	国際ロータリー第2820地区ローターアクト代表	鈴木 翔太郎 様
昨年度開催報告	国際ロータリー第2750地区ローターアクト代表	田嶋 諒一 様
A P R R Cについて	Public Relation Director	山田 幸弘 様
決議事項報告	国際ロータリー第2820地区ローターアクト代表	鈴木 翔太郎 様
ホスト地区代表挨拶	国際ロータリー第2820地区ローターアクト代表	鈴木 翔太郎 様
次年度地区代表所信表明	全地区代表ノミニー	
全国ローターアクト研修会旗引継ぎ		
ニコニコBOX報告		
実行委員長祝辞	第30回全国ローターアクト研修会実行委員長	但野 実穂子 様
総評	国際ロータリー第2820地区ローターアクト委員長	内藤 学 様
閉会宣言	国際ロータリー第2820地区ローターアクト幹事	吉原 葵 様
点鐘	国際ロータリー第2820地区ローターアクト代表	鈴木 翔太郎 様

国際ロータリー第2510地区 参加者

ロータリークラブ

地区ローターアクト委員長	川下 和光 様	(札幌南ロータリークラブ)
地区ローターアクト副委員長	川本 康裕 様	(室蘭北ロータリークラブ)
地区ローターアクト委員	高橋 耕 様	(札幌南ロータリークラブ)

ローターアクトクラブ

地区ローターアクト代表	山下 彩夏	地区広報	北口 星
地区副代表	石川 樹	地区直前代表	三浦 幸恵
地区幹事	村山 はるか	地区代表ノミニー	小野寺 知香
地区広報	深貝 友香梨		

▶札幌南ローターアクトクラブ

上浦 由莉子 太田 亮 (OB)

▶赤平ローターアクトクラブ

鈴江 凌 武田 洋平

▶千歳ローターアクトクラブ

青野 弘稔 森 琢哉 北村 秀美 (OG) 汪 可悝 (OG)

開会式

オープニングの大洗高校マーチングバンドの演奏が会場内に響き渡り、ついに全国ローターアクト研修会が始まったのだと実感することができました。これだけの人数が参加しているにも関わらず、隔々までおもてなしが行き届いていました。

初めて全研に参加する会員も多く、多くの人数と大規模な行事に圧倒されてしまう場面もありました。



大洗高校の演奏でお出迎え



いよいよ始まります



ご来賓の皆さま



吉原地区幹事の開会宣言



保証ガバナーのご挨拶



鈴木地区代表の堂々とした挨拶



茨城県知事（代理）のご挨拶



水戸市長からのご挨拶



但野実行委員長によるプログラム説明



円滑な司会進行でした



当地区参加者の様子



ネームプレートも素敵でした

研修プログラム 「歴史・自然」

5つのプログラムうち、2510地区は4つのプログラムに参加しました。宇宙・茨城について学ぶ「歴史-再開-」では、JAXAの現状や未来についての講演で、夢が膨らむ内容ばかりでした。

「自然-彩街-」ではグループごとにまわり指定の場所で記念撮影。ちょうど梅が開花している時期でもあり、偕楽園の美しい景観やに触れながら多くの人と交流を深めました。



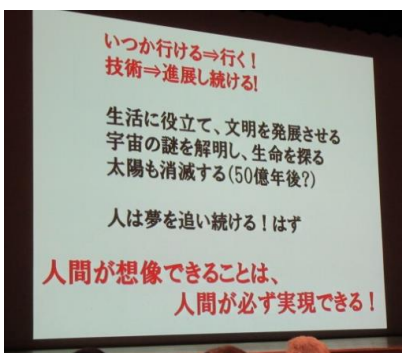
歴史プログラムの様子



講演のテーマは「人と宇宙」



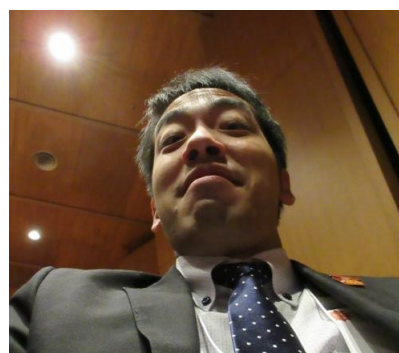
JAXA筑波宇宙センター松本様



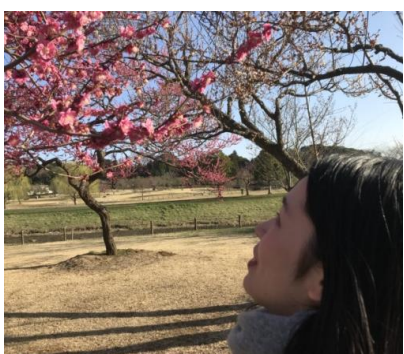
夢を追い求めることが大切！



茨城に関する〇×クイズ中



当地区で1番正解しました



綺麗に咲いていました



水戸黄門像と



お題の場所で記念撮影！



アヒルボートもいました



花より団子？



偕楽園を回りました♪

研修プログラム 「文化・食」

「文化－際会－」では、カスミガプロジェクトと題したまちづくり講演が行われ、地域創生に関するお話がいくつもありました。

「食－菜海－」では、水戸といえば納豆…ということで、納豆工場や酒造を見学しました。

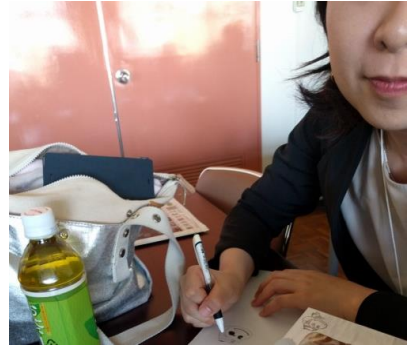
どのプログラムをとっても、茨城県の魅力を体験できる内容であり、参加者全員がますます茨城県の魅力にハマっていました。



カスミガプロジェクト



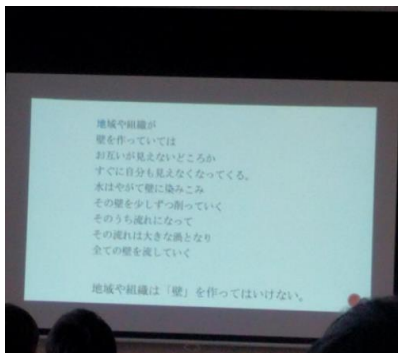
会場が埋まっています



開始前のひととき



教えて！菊池さん



「人」について学びました



真剣な千歳RAC青野くん



酒造見学…♪



たくさんのお酒たち



製造工程を説明してくれました



茨城名物といえば！



工場内の様子



生産者の方の熱意にもふれました

懇親会 代表者懇親会

メインプログラム終了後は、場所を移して懇親会が行われました。多くの参加者で埋められた会場内で、他地区の皆さんとたくさん交流することができ、時間があつという間に過ぎてしまいました。

代表者懇親会でも同期代表や次年度地区代表同士で日頃の苦勞を話し合いながら、今年度や次年度に向けて、協力し合いながら頑張る決意を固めることができた時間になりました。



開会式がはじまりました！



水戸納豆もたくさん！



乾杯前にフライング…笑



だいぶお酒が進んでます



アラサーはちょっと休憩…



ゲストの「カミナリ」



サービス精神旺盛でした



自区内の親睦も深めて…



各地区パスト・現地区代表と



次年度は福岡で開催！



2820地区のPRタイム



鈴木地区代表、お疲れ様です！

代表者会議

翌日、全国33地区代表者会議が行われました。今年度は協議事項も非常に多く、当地区も積極的に意見を発言しました。

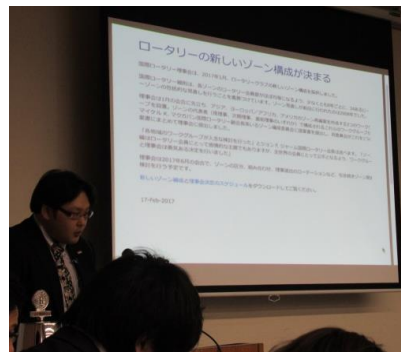
より良い議論を行うためにどうすればよいか、ホスト地区だけではなく参加している代表者全員が、一つの議題に対してしっかり考え、議論することが、円滑な地区運営につながっていくと感じました。



開会式がはじまりました！



次年度は愛知で開催します



ゾーン編成が変更されることに



山下地区代表と村山地区幹事



出しゃばって発言しています



代表者会議の様子

■代表者会議にて発言した内容や審議・協議内容の概要■

◆報告事項◆

▽第31回全国ローターアクト研修会について

→地区分担金について、同時開催行事には活用しないことと、予算を分けて明示するよう要望

◆審議事項◆

▽第32回全国ローターアクト研修会について

→ガバナー承認に係る書類を後日33地区に送付することを条件とし、2760地区での開催が承認される

◆協議事項◆

▽第29回全国ローターアクト研修会決算報告

→決算報告に併せて、初の海外開催に伴う良かった点や反省すべき点についても確認した

▽「全国ローターアクト研修会」の地区分担金のあり方について

→各地区の予算状況を鑑み、通例で1地区5万円となっている分担金のあり方や負担について協議

▽ロータリーゾーン改正に伴う全国ローターアクト研修会開催要項改正について

→ゾーンによる輪番制から、ブロック制への変更や海外地区の参加の有無について協議

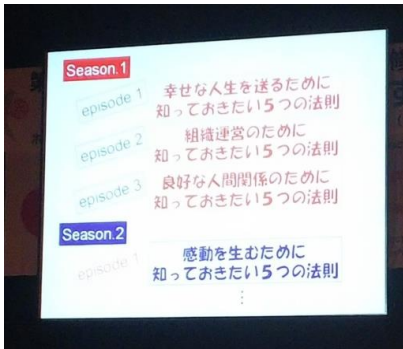
▽全国ローターアクトに対する連絡方法について

→全国33地区代表者間のメーリングリストを、全研ホスト地区が構築することで一致

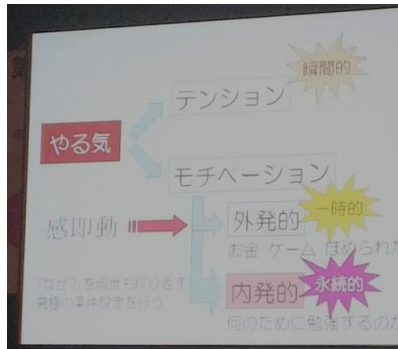
基調講演

代表者会議参加者以外は、同時刻に開催された基調講演に参加しました。木下 晴弘様による、「魂を揺さぶる生涯忘れない90分～感動は人を動かす～」と題しての講演でした。

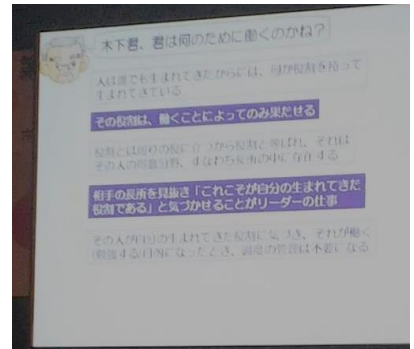
詳細は参加者からの感想文に記載されておりますので割愛しますが、参加者全員が非常に刺激を受け、「話が聞けて良かった」と絶賛の声が多数でした。



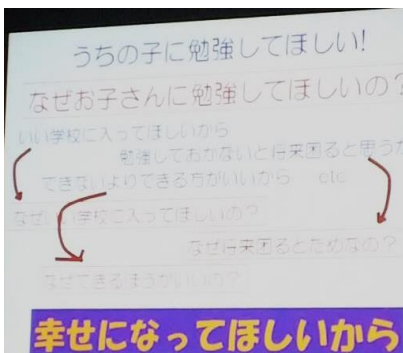
講演の概要①



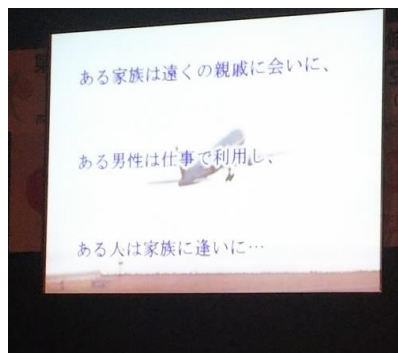
講演の概要②



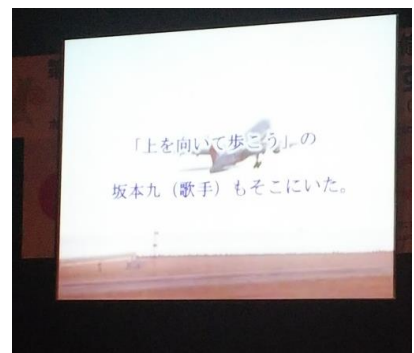
講演の概要③



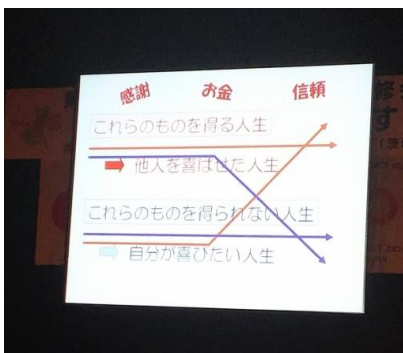
講演の概要④



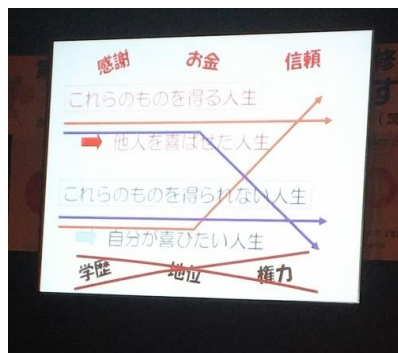
講演の概要⑤



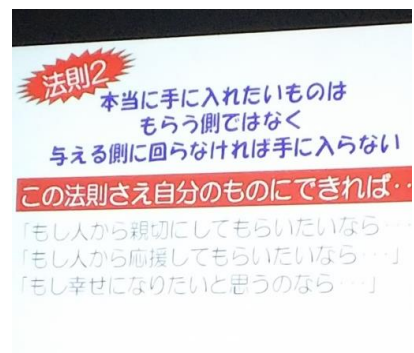
講演の概要⑥



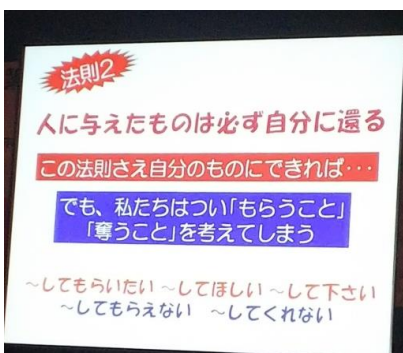
講演の概要⑦



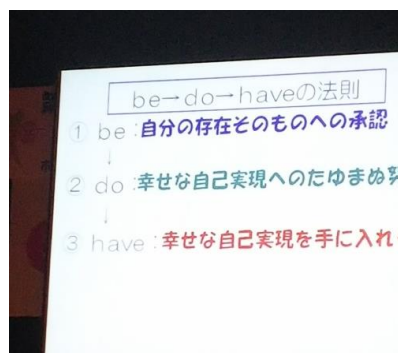
講演の概要⑧



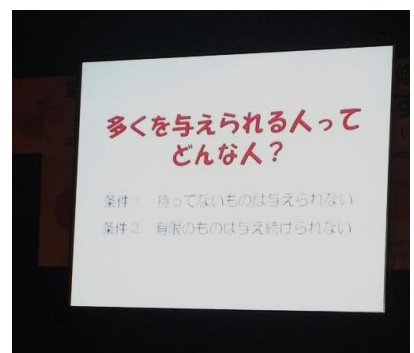
講演の概要⑨



講演の概要⑩



講演の概要⑪



講演の概要⑫

閉会式

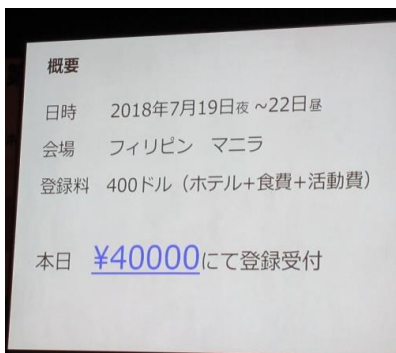
あつというまの2日間の全日程が終了し、開催旗が無事に次年度
度ホストである2700地区へと引継ぎされました。

当地区参加者も、人脈を広げたり、様々な場面での学び・刺激が
あったようで、今後のローターアクト生活に生かしていきたいと思ひます。

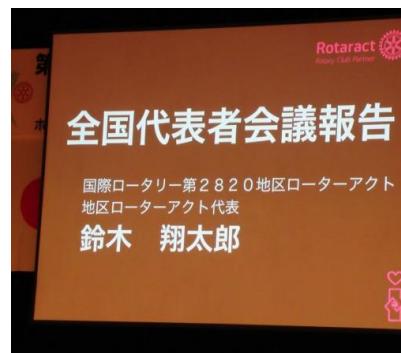
素晴らしい全研と心温まるおもてなしを提供してくれた、ホスト地区
であります2800地区に御礼申し上げます。ありがとうございました。



昨年度ガムでの開催報告



APRRC2018のPR



代表者会議報告もありました



小野寺ノミニーの決意表明！



全研開催旗の引継ぎ



次年度は2700地区・福岡！



但野実行委員長の謝辞



内藤地区RA委員長の総評



吉原地区幹事の閉会宣言



鈴木代表に割れんばかりの拍手



今年度全国33地区RA代表



次年度全国33地区RA代表

『第45回地区協議会を終えて』

国際ロータリー第2510地区
ローターアクト委員長 川下 和光

2009～2010年度、国際ロータリー第2760地区ホスト開催の（名古屋市）第22回全国ローターアクト研修会以来、8年ぶりに参加してまいりました。

これまで6度の全国研修会に参加致しましたが、さすがに8年ぶりの参加となりますと私がローターアクトの時に参加し経験していた全国研修会とは違う形の全国研修会になっておりました。

おもてなしという部分に関しましては、これまで私が参加致しました全国研修会と変わらずホスト地区のローターアクターやガバナー地区内関連ロータリアンの皆様の全国から来るアクターやロータリアンを迎え入れる為の気遣いなどそのホスト地区の特色がありとても良かったと思います。

しかし、本来の全国ローターアクト研修会の意義を無くしてしまったのかなと感じました。元は全国代表者会議という名で、現在は義務出席者となっている地区代表・代表ノミニー・地区ローターアクト委員長が集まり議題等を話し合う会議だったのですが、折角全国から集まる機会があるのなら一般参加者も集め地区の交流を深めようと現在の全国ローターアクト研修会の形になりました。しかしそのメインというべき会議が薄くなってしまった感がありました。代表者会議には、地区代表・地区幹事部門、代表ノミニー・地区幹事ノミニー部門、地区委員長部門と最低でも3部門必要なのですが、今回の全国研修会では、地区代表・地区幹事・代表ノミニー・地区幹事ノミニーを一つの会議場に集め会議を行っておりました。この問題点としては、アドバイザーとしてロータリアン（ガバナー若しくはそれに付随する者）が議長の隣りに居ない、ノミニーは発言が出来なく次年度の練習が出来ない事です。確かにノミニーには決定権は無いですが代表部門と同じ内容をノミニー部門でも話し合い発言し次年度の代表としての自覚を持ち代表年度の準備が出来る良い機会の場が失われているのかなと思いました。このノミニー部門で話し合われ発言したことは、代表部門のなかでノミニー部門ではこの様な意見や発言がありましたと報告されます。

これを受け代表部門で改めて話し合い議決し、本会議にて可決されたこともあるのです。

このように、改めないといけない点があったのは少し残念でした。当地区は第33回全国ローターアクト研修会のホストとして、改善点を含めて準備にあたり全国のアクター・ロータリアンの方々に多数ご参加頂けるよう当地区として何が出来るのか、どのようにすれば成功に導けるのかを考えていきたいと思いました。

『第30回全国ローターアクト研修会に参加して』

国際ロータリー第2510地区
ローターアクト副委員長 川本 康裕

去る3月17日、18日、第30回全国ローターアクト研修会が茨城県水戸市県民文化センターで開催されました。早朝7時30分に千歳空港に集合、茨城空港へ向けて、眠い目をこらえていざ出発。

2510地区RACからは地区代表の山下彩夏さん始め11名、地区RACより川下委員長始め、私を含めて2名の参加でした。水戸市内は朝晩少し冷えますが、昼は春の日差しが照る良い天気にも恵まれました。詳細については皆さん報告されると思うので、私は別の角度から今回の全研を振り返ってみようと思います。

今回の記念誌「第30回全国ローターアクト研修会in茨城」の中から各地ローターアクト紹介について感想を述べたいと思います。全国33地区RACの紹介として地区代表にQ&A方式でアンケートを取っていました。その中の一番最初のアンケートが「アクトで学んだ最大の事」とありました。

その中で一番多かったのが「人との繋がり」「チームワーク」「多くの友人ができる」「人との繋がりが人生の広がり」などRACを介して、仲間ができ、そして和ができ、絆が生まれる。これがRACの最大の目的なのかもしれない。今の若い人はネットの繋がりで、お互いの顔をみながら話をすることが少ないといわれているが、RACのような組織に入ることにより、人と人の繋がりを一度体験することで、18歳～30歳の人生で一番花のある時期にそういう経験をするチャンスがあるのであれば、ぜひ参加すべきだと思います。

2番目に多かったのが「自ら考え、決断し、行動すること」「新しい自分発見」「時間の使い方」「責任感、行動力」などRACを通しての“自己研鑽”を意味することが多かった。ほとんどがこの2つに集約されるのではないかと思います。「行動しなければ何も始まらない」ということですね。今度、当クラブのロータリアンにアンケートを取ろうかと思っています。

PS. 少し時間があつたので、水戸と言えば「偕楽園」。ちょうど梅の時期なので一人で行ってきました。研修プログラムにも入っていましたが、残念ながらそのプログラムではなかったの。少し、梅も散り始めていましたが、素晴らしい梅園でした。これで三大名園すべてみました。

『第30回全国ローターアクト研修会を終えて』

国際ロータリー第2510地区
ローターアクト委員 高橋 耕

3月17日、18日の2日間の日程で、茨城の水戸で開催された全国ローターアクト研修会に参加して参りました。私もかつてはアクトとして活動しておりましたが、仕事の調整がつかず地区外の行事には参加できておりませんでした。そのため、今回参加できることを非常に楽しみにしておりました。また、2020年～2021年度に同大会が札幌で開催されることが決定しており、勉強するつもりで向かいました。

当地区から参加したアクトも他地区のアクトと積極的に交流していたように感じますし、札幌開催にあたり段取りや進行の仕方などいつもとは異なる角度で観察し参加しているようでした。懇親会後は茨城のロータリアンとお酒を交じえながらアクトや青少年奉仕の現状を伺うことができ、大変濃い時間を過ごすことができました。

地区代表者会議を一度見学してみたいと思っておりましたが、前日の美味しいお酒のせいでしょうか、寝坊してしまい参加できなかったことが心残りではあります。そこは来年の福岡で開催される同大会参加時の自身への宿題として課していこうと思います。

今回参加されたアクトの皆さんは、2日間の貴重な体験を参加できなかったアクトにどのような会だったかを伝え、これからの同大会の札幌開催のPR、会員増強に役立ててもらいたと思います。

『第30回全国ローターアクト研修会を終えて』

国際ロータリー第2510地区
ローターアクト代表 山下 彩夏

平成30年3月17日(土)～18日(日)茨城県水戸市にて開催された第30回全国ローターアクト研修会に出席いたしました。今回は3年後に当地区での開催を予定している第33回全国ローターアクト研修会に向けて、全国のローターアクトが集う行事に初めて参加するメンバーを数多く含む、ローターアクター12名、OB・OG3名、ロータリアン3名の計18名で参加してまいりました。

今年度の全国ローターアクト研修会のテーマに掲げられていた「SAIKAI～iを活かす～」の通り、過去に行事を通じて交流させていただいたことのあるアクターと再会を果たすことができ、ありきたりな言葉ですが、とても嬉しかったです。ただそれだけで気分が高揚し、「楽しい」「茨城に来て良かった!」と思いました。このように、再び顔を合わせ、そこからより一層関係性を深められることがローターアクトの魅力であると私は感じているため、今回初めて参加したメンバーには来年度以降も参加し、私が感じたように「再会」の喜びを味わってほしいです。

また、今回は参加者の1人としてプログラムや会議に出席するだけでなく、ホスト地区側の視点に立って本研修会を拝見させていただきました。研修プログラムが5つ設定されており、茨城県だからこそ体験できるプログラムが多く、5つすべてに参加したいと思うくらい魅力的な内容がそろっていました。さらに、2日目に行われた基調講演は「魂を揺さぶる生涯忘れない90分」という興味をそそるテーマで、ぜひ聴いてみたいと思うものでした。私は全国代表者会議出席のため、残念ながら拝聴することはできませんでしたが、講演内容はもちろんのこと、人を引きつけるようなテーマ(見出し)を掲げることが重要であると感じました。ただ、今回は全体的に受け身のプログラムでまとまっている印象だったため、参加したローターアクター1人1人がより積極的に発言したり行動したりする場を設けたプログラムを加えてもよいかと思いました。そして、ホストを務めた第2820地区(茨城)のメンバーは数年前から全国各地を巡って本研修会のPRを積極的に行っており、当地区の行事にも多くのメンバーが出席し、参加を直接呼びかけていました。そのため、当地区も全国ローターアクト研修会開催を予定している3年後まで、たくさんの地区へ訪問する計画や「札幌の全研に参加したい」と思ってもらえるようなPR方法の検討などが必要と感じました。

このように、本研修会に参加したローターアクターそれぞれが感じたことや学んだこと、気づいたことを共有し、3年後の全国ローターアクト研修会開催に活かしていきたいと思います。

最後に、ご多忙のところ本研修会へともに参加してくださいました川下ローターアクト委員長をはじめとするローターアクト委員の皆様、さらに12名という多くのローターアクターが参加させていただくにあたり、ご支援をいただきました各提唱ロータリークラブ、第2510地区ロータリークラブの皆様には厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

『第30回全国ローターアクト研修会に参加して』

国際ロータリー第2510地区
ローターアクト副代表 石川 樹

3月17日から2日間にかけて、第2820地区がホストのもと開催されました「第30回ローターアクト研修会」に参加してまいりました。今回は、後述のとおり2020～2021年度に当地区がホストを務める予定でもあることから、ローターアクター12名、OB・OG3名、ロータリアン3名の合計18名という、ここ数年では最も多く的人数で参加してまいりました。

研修会の内容につきましては、報告書の記載のとおりですので割愛しますが、①ホストを務めるに当たって、②パスト代表として感じたこと、の2点に重きを置いて感想を述べたいと思います。

1点目の「ホストを務めるに当たって」について、私は3回目の全国ローターアクト研修会参加になりますが、過去2回とは違い、ホストを務めるに当たり、どのような点が求められるか、運営において何が重要か、地区の特色を生かし、参加者全員がそれぞれの立場で学ぶことができるプログラムは何が考えられるか、またホスト地区の運営や準備、参加者に対するおもてなし等、運営の立場をイメージしながら本研修会を見ていました。

今回ホストを務めた2820地区は、当地区をはじめさまざまな地区に出向き、本研修会をPRし、参加者が一人でも多く増えるよう、自らが積極的に行動し、周知活動に奔走していました。また、受付の水菜やお茶、ヤクルトといった無料配布や、トイレ等に設置してある歓迎のメッセージ等、細やかなおもてなしが行き届いており、このような参加者に対する「奉仕の心」という心温まる配慮が受け取ることができました。

そして、「茨城県の魅力」という点に一貫したプログラムからは、食や自然、歴史や地域づくり等から、いかに地元の発展に貢献できるか、そして報道ではなかなか伝わらない茨城県の魅力を感じとることができ、全国ローターアクト研修会だけではなく、日々の例会にも参考になるプログラムだったと思いました。

これらの視点は、今後準備を進めていく際に、重要視する点であると思いますので、地区全員が意思統一を図れるようにしていきたいと考えています。

次に、2点目の「パスト代表として感じたこと」についてですが、私は2年ぶりに全国33地区代表者会議に参加してまいりました。個人的には地区代表という重荷が解放されていたことや経験値もあったことから、積極的に発言させていただきました。

私が地区代表の時と比べて感じたことは、前年度の様子はわかりませんが、発言者が著しく減少したことや、意見や考えにおける論点が少々ずれてしまう場面がいくつか見受けられました。

2年前と状況は異なると思いますので、比較することは良いことではないかもしれませんが、2年前はかなり活発な意見交換がなされていたと記憶しています（当時の議題はかなり細かい点まで議論しなければならない案件ばかりだったこともあり、定刻を過ぎることはしばしばありました）。

なぜこのような状況になってしまったか、私は「代表者（地区代表・地区幹事）に就任するに当たり、絶対条件、必要条件となる知識の定着がやや形骸化している」、「自信を持って意見を発言し、活発な議論を行う経験が少ない」ということを推察しています。

特に、ここ数年は次年度地区代表や次年度地区幹事が知識を得たり、ノミニー・エレクトレベルで議論する機会がないと感じています（メインプログラムは参加型になっている傾向や、面と向かって交流できる機会が代表者懇親会しかない現状も影響していると思います）。せっかく年に1度、全国の代表者が年に1度、面と向かって議論し、日本のローターアクトがより良い方向を目指すきっかけとなる時間となりますので、もっともっと活発な時間になるべきと思っています。代表者会議の進行方法や各地区の意見を聞くことができるような内容を検討することはもちろん、ノミニーやエレクトが経験を積むことができる機会を設けることが必要だと感じました。

個人的には、たくさん意見を言うことができたので、楽しい会議になりました(笑)。次年度も地区幹事で義務出席となりますので、濃密な議論ができることを楽しみにしています。

そして、一番印象に残った言葉として、第2820地区ローターアクト委員長が総評で、「ローターアクトの活動の“原点”は“例会”だ」とおっしゃっていたことです。私個人としても、全国ローターアクト研修会も日々の例会や奉仕活動の経験が積み重なって成り立つものだと考えており、ホスト地区からの言葉、そして同じ考えであったことに大きな感銘を受けました。

現在、当地区は例会を開催できないないクラブも多数あることや、例会の内容が事務的・軽薄なものになっている状況があります。地域の奉仕活動も含めて、全国ローターアクト研修会の準備を行う今だからこそ、ローターアクト活動の“原点”に立ち返り、一からしっかりと活動を行うことが重要といえます。地区役員として各クラブにはたらきかけることができるようにしていきたいと思います。

以上、長々と述べてしまいましたが、個人的には一番楽しめた全国ローターアクト研修会だったのではないかと考えています。そして、当地区ローターアクト一同、さまざまな場面で刺激を受けたことも多かったと思いますので、この刺激をこれからのローターアクト活動に活かしていければと思います。そして、2020～2021年度に向けて、地区一丸となって大きな一歩を踏み出したいと思います。

終わりに、お忙しい中ご参加いただいた川下地区ローターアクト委員長をはじめとするローターアクト委員の皆さま、OB・OGの皆さま、山下地区ローターアクト代表をはじめとする当地区参加ローターアクターの皆さま、そしてホストを務めた鈴木地区ローターアクト代表、但野実行委員長をはじめとする第2820地区ローターアクトの皆さまに感謝を申し上げます。ありがとうございました。

『第30回全国ローターアクト研修会に参加して』

国際ロータリー第2510地区

ローターアクト 地区幹事 村山 はるか

第30回全国ローターアクト研修会が茨城県水戸市で行われました。仕事柄あまり土日には休みを取れないですが、今回はホスト地区の直前代表の方が何回も北海道に足を運んでくださったお礼も兼ねて参加しようと思い、休みを取って参加しました。

昨年度グアムで行われた全国ローターアクト研修会にも参加しましたが、今回の茨城県で行われたものとは違う点が何点かあり、とても新鮮な気持ちでした。

1日目、会場では既に、大洗高校のオープニングセレモニーがあり、演奏者が動いて楽器を鳴らしていました。マーチングバンドを初めて観たので感動しました。また、会場内には多くのローターアクターが集まっており、人数の多さに圧倒されました。

今回ホスト地区で5つのプログラムの用意がありました。どちらも茨城県の魅力を伝えるもので、その中でも自然に興味があったので、私は自然を選びました。茨城県の観光地を代表する偕楽園でウォークラリーをするプログラムでした。チームに分かれ、選出されたお題の写真の目の前でチーム全員で写真を撮り、写真をホスト地区の担当者に送るというものです。最初はチーム内でそれぞれ自己紹介をし、どう回るかを少し話し合いながら回りました。写真を撮るうちにチーム内で話が盛り上がり、写真を共有することで自然とLINEの交換もできました。風が少し冷たかったですが、梅がキレイな色に咲いていて観光や写真を撮りながらプログラムを楽しみました。結果は3位で景品も貰えました。チーム一丸となって走りながら公園を巡って楽しかったです。

懇親会では多くのアクターが集まり、新しい出会いもありました。地区のPRでは、道外の盛り上がりがすごく圧倒されました。その後は代表者懇親会に参加しました。アクトに対して熱い思いがある方がたくさんいらっしゃり、代表や幹事を務めることがどんなに大変かを身に染みたと同時に、普通ではできない経験を積んできた皆さんがとても輝かしかったです。

2日目は代表者会議に参加しました。アクトらしく意見が活発でまさに会議とはこのことだ！、と思いました。会議が終了した後、1年に1度しか設けられないとは少し勿体無い気もしました。この代表者会議に参加して、一つなにかを学べた気がしました。

閉会式が始まると、あっという間の2日間だったな～、と少し寂しい思いになりました。また今回出会った皆様とSAIKAIできるといいです。

『第30回全国ローターアクト研修会に参加して』

国際ロータリー第2510地区

ローターアクト 地区広報 深貝 友香梨

3月17日、18日の2日間、茨城県にて行われた全国ローターアクト研修会に参加させていただきました。私は私用により17日の途中までの参加でしたが、その短い時間でも全国ローターアクト研修会の規模の大きさと、2820地区1人ひとりが全国ローターアクト研修会を成功させようという思いを感じました。

全国ローターアクト研修会にはロータリークラブの方、ローターアクトクラブの方合わせておおよそ500名もの方々が参加していました。普段地区大会を執り行っても参加者目標は多くても100名です。100名もの参加者の動向を把握するにも精一杯ですが、その5倍もの方が参加するというだけでも、そのスケールの大きさを感じ取ることができました。また、プログラムも食・歴史・文化・自然・人間の5つにも分かれており、その全てのプログラムを完成させる苦労は計り知れないものであるのだらうと思いました。

私は、歴史プログラムに参加し、JAXA宇宙センター松本さまの講義を聴きました。講義では、日本の宇宙開発を進める期間JAXAの業務（宇宙活動、人工衛星の開発・運用利用、ロケットの打上安全・航空機の研究、宇宙科学調査）についてクイズも加えながら分かりやすく説明してくださいました。宇宙での生活や、これから宇宙に行くために行われている活動を聞くことで、宇宙に行けるようになるのも遠くない未来のように感じました。講義の最後に松本さまがお話していた「人間が想像することは、人間が必ず実現できる」という言葉はまさにその通りだと感じ、なにか勇気をもらえた気がしています。過去から見るとロケットで宇宙に行く人がいるとさえ想像できなかつたと思います。それが現在では宇宙に人が行けることが証明されていることは当たり前になっています。そう考えていくと、いつかは宇宙に旅行に行けるのが当たり前になることもあり得るのでは…感じました。

歴史プログラムに参加することで、2820地区のローターアクトの方々との運営面での凄さも感じました。歴史プログラムは土浦南ローターアクトクラブの方々为主に運営を行っていました。1つのクラブで滞りなくプログラムを運営していることに驚きました。現在の自身の地区・クラブで1つのプログラムを運営できるかを考えると正直少し難しいと思います。どのようにプログラムを運営していく力をつけることができるのか個々人が考えていく必要があると感じました。次年度はクラブで運営する行事はありませんが、クラブ単位での活動を増やし、運営力や地域奉仕を行っていくことで3年後の全国ローターアクト研修会への準備を行っていきたいです。

最後に、全国ローターアクト研修会の運営を行って下さった、但野実行委員長はじめ2820地区の皆さま沢山のおもてなしと様々なご配慮をいただき、楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

また、一緒に行って下さった2500・2510地区の皆さま。途中で北海道へ戻ってしまいご迷惑をおかけしました。この短い時間でこのような濃密な時間を過ごすことが出来たのは皆さまと一緒に行けたからだと思います。ありがとうございます。今後も協力し、3年後には北海道も熱く盛り上げていきましょう。

『第30回全国ローターアクト研修会に参加して』

国際ロータリー第2510地区

ローターアクト 地区広報 北口 星

全国ローターアクト研修会に初めて参加させていただきました。

1日目は研修会プログラムがメインで、私は食プログラムに参加し、最初に酒造工場の見学に行きました。軽く工場を見学した後に、梅酒の試飲という流れでした。梅酒を飲んだことが無かったので、この機会に、と思い何種類か飲んでみましたが、それぞれ味や食感の違いが分かり楽しみながら飲むことができました。

次に、納豆工場の見学に行きました。納豆が好きで、朝ご飯に毎日食べているので、とても楽しみにしていました。実際に作っている現場などを見ることはできなくて残念でしたが、納豆が作られる過程や食べ方について学びました。「北海道はお砂糖を混ぜて食べますよね？」と言われたときは少し驚きましたが、地方によって食べ方が違うことも良い勉強になりました。お土産に納豆とチョコ納豆を買い、北海道に帰ってから食べましたが、納豆はやはりしっかりとしていて量も多く、ねばねば感も普段食べている安いものとは大違いでした。せっかくなので薫納豆も買っておけば良かったと後悔しました。チョコ納豆は、乾燥させた納豆にチョコがコーティングされているお菓子です。名前だけを聞くとちょっと気持ち悪い…？ですが、食べてみると納豆とチョコの組み合わせでは想像ができないおいしさで、ネットで注文を考えるほど家族にも評判でした。

2日目は基調講演がありました。どの内容もすごく考えさせられ勉強になりましたが、その中でも一番印象に残っているのは「人に与えたものは必ず自分に返ってくる」という内容です。人は「～してほしい」、「～してもらいたい」、「～してくれない」、「～してもらえない」などと、与えてもらうことばかりを考えてしまいがちですが、与える側にならないと本当に手に入れたものを手に入れることはできないそうです。ここで少し考えてみると、私はどちらかという与他人に何かを与えようともせず、ただただ欲しがるタイプだと気付き反省しました。なので、これからは与えてもらうことばかりを考えずに、少しずつでも他人になにかを与えていこうと思いました。ですが、与えても必ず与えた相手から返ってくるわけではなく、周りから返ってくるが多いため返ってきたことに気付かず、「与えてばかりだ。」と思い込んでしまい、良いことの継続ができないそうです。良いことを継続させるためのポイントとして、他人に親切にされたら「与えた分が返ってきた！よかった！」と、素直に思えるよう常に心に余裕を持つことが大切だと考えました。また、自分が持っていないものを他人に与えることはできないそうで、他人に幸せを与える場合はまずは自分が幸せにならないといけないため、幸せになれるよう努力をしようと思いました。講演の90分はあっという間に過ぎましたが、いろいろなことに気付かされ、とても濃い時間を過ごすことができました。

他にも、素晴らしいマーチングやゲストのお笑い芸人、飲み物の差し入れや水菜のお土産等、おもてなしの心を感じ、居心地の良い2日間になりました。ありがとうございました。

『第30回全国ローターアクト研修会に参加して』

国際ロータリー第2510地区ローターアクト
地区直前代表 三浦 幸恵

平成30年3月17～18日にかけて、茨城県水戸市にて第30回全国ローターアクト研修会が開催されました。

2510地区からRC3名、RAC、12名、OB・OG3名の合計18名で参加して参りました。今回、茨城での登録者数は全国33地区より600人を超え、会場は【茨城県県民文化センター】を貸し切り、大ホールにて盛大な開会式が行われました。

開会式では、大洗高校マーチングバンド部より多大なる歓迎の演奏から始まりました。私はマーチングバンドを初めて見たので一条乱れぬ動き、激しい動きにも関わらず、演奏がぶれないものは、どれだけ時間を費やしたのだらうととても関心いたしました。そして、この全国ローターアクト研修会の開会式からも伝わるものがあり、ホスト地区の皆様もこの日の為に入念な話し合い、打ち合わせ等を沢山込められたものを感じさせてくれました。

その後は、研修プログラム、懇親会となり大物ゲストが登場しました。茨城県出身のお笑い芸人「カミナリ」が登場されました。過去3回、全国ローターアクト研修会に参加していますが、芸人の方が来るのは初めてでした。この依頼には「一年前から声をかけていました」とホストの方より貴重なお話を聞くことができました。

その後も二次会、三次会と以前から全国で知り合った人、昨年度の同期の地区代表者が集まり、皆で和気あいあいと楽しい日々を過ごすことが出来ました。

完全なる二日酔いの中、二日目の基調講演になんとか間に合い、木下晴弘様の貴重なお話を聞くことが出来ました。私が介護職に携わる全てに当てはまる内容ばかりで「なぜ人は働くのか」「感謝」「お金」「信頼」など相手の為に考え生きていく。とても貴重なお話ばかりで本当に参加して良かったと思います。

閉会式では次年度の代表エレクトが一堂に並び、2510地区から赤平RAC小野寺さんが壇上へ上がり、立派な所信表明を行って下さり安堵したのと、つい2年前も私が行ったことを思い出し、ぐっと涙が込み上げる想いもありました。

いよいよ、閉会点鐘には鈴木地区代表からの元気な呼び声と共に、会場からの鳴りやまない拍手には感動を致しました。私も地区代表を経験しているがゆえ、鈴木地区代表には色々なプレッシャーや重圧がのしかかっていた事、色々な想いを背負ってやっと着地させたように感じさせてくれました。

この度の開催にあたり2820地区の皆様本当にお疲れ様でした。長い年月を費やし地区一丸となった最高の全国ローターアクト研修会でした。参加者にも細部までいきわたる、茨城皆様のおもてなしに感謝いたします。現役アクトでは最後の全研でしたので、本当に参加して良かったです。次年度は2700地区福岡にて開催されます。次年度もできれば参加したいと思います。

今回2510地区から18名と大人数で参加できたことで2510地区の一体感を感じました。

3年後いよいよ北海道の全研が迫ってまいります。更に意識を高めて、まずは会員増強に力を注ぎ、新しい世代にバトンタッチができるよう微力ながら頑張りたいと思います。

『第30回全国ローターアクト研修会に参加して』

国際ロータリー第2510地区ローターアクト
地区代表ノミネー 小野寺 知香

全国ローターアクト研修会に参加させていただいたのは、今回が初めてとなります。

前々から、全研に参加したことのある会員や先輩方からは「全研楽しいよ!」「たくさんの人とお話ができて勉強になるよ!」「全国に友だちができるよ!」など、心惹かれるお話をたくさん聞かせていただいております。

今回、当地区からは12名での参加となり、道外の行事にこのような多くの人数で参加をさせていただくことは、あまりないのではないかと思います。

全研に参加するにあたって、私個人としては次年度に向け、道外のアクターとたくさん話をしよう、一枚でも多くの名刺を交換しよう、そのような気持ちをもって参加をさせていただきました。

参加させていただいた感想といたしましては、式典の雰囲気やプログラムの内容は、勉強をさせていただくことが多かったと思います。

さらに、今回ホストを務めてくださった茨城のアクターの一つ一つの心遣いは、今後当地区の行事や自クラブの行事の際にはぜひ活用していきたいと思えるような工夫がたくさんありました。

代表者懇親会においては、たくさん名刺を交換することができました。次年度の代表や幹事とお互いの地区の状況や、日頃の不平不満など冗談を交えながらお話をすることができ、次年度に向けて不安はまだ多いのですが、頑張っていこう、そんな風に前向きに考えていける良いきっかけになりました。

人がたくさん集まって何かをする…さらには、全国から人が集まって何かを楽しむということは、社会に出てからはなかなか経験のできない大変貴重なことだと思います。

空港へ向かう、バスに乗る、食事をするなど、一つ一つの小さなことも、今回全研に参加させていただいたなかでは楽しかった思い出の一つです。

それも偏に、12名という当地区では多くの人数が参加することができたからなのではないかと思います。

今後も全研だけにとどまらず、より多くの人数で行事に参加をし、たくさん楽しい思い出を作っていきながらアクト活動をしていければいいなと思います。

『第30回全国ローターアクト研修会に参加して』

国際ロータリー第2510地区

札幌南ローターアクトクラブ 上浦 由莉子

国際ロータリー第2820地区のローターアクターの皆様、この度は第30回全国ローターアクト研修会にて私達を暖かく歓迎してくださり、素晴らしいテーマのもと様々なプログラムを用意して、もてなして下さったことを感謝致します。有難うございました。今回充実したプログラム等を楽しむことができたのは、2820地区のロータリアン、ローターアクターの皆様のおかげです。

"SAIKAI"というテーマのもと、式典や研修会プログラムが行なわれ、夜は懇親会や二次会があり、その翌日は基調講演も拝聴致しました。昨年の6月にローターアクトクラブに入会してから9ヶ月が過ぎ、少し慣れてきた頃の全国研修会は大変新鮮で、大変凝縮された時間を過ごすことができました。

式典の開会宣言をバンジージャンプで行なうというあの斬新な試みは一生忘れないでしょうし、"食-菜海-"を選択した研修会プログラムでは酒造見学や納豆工場見学にて、それぞれの製品が作られる工程や知らなかったお酒と納豆の常識を丁寧に教えていただきました。個人的に、お酒が好きで試飲を楽しみに選択したこのプログラムではありましたが、ものづくりに関わる方々の情熱に触れ、食べる、飲む、という行為を考える大変貴重な時間となりました。しかしながら、式典の時から多くのアクターを目にして圧倒されてしまい、普段人見知りをしない私でも緊張してしまいました。結果として懇親会などで他の地区の方との交流を思ったようにできなかったことが残念でしたが、普段とは違う場で人と親交を深める難しさ、大切さを学ばせていただきました。今度は親交を深めた先を見つめつつ、多くの方と関われることを楽しみにしたいと考えています。

そして今回、他地区に来ることによって自地区との仲が深まったのは思わぬ収穫でした。自地区といえど北海道は広く、普段交流する機会が少ないことに加えて、まだ日も浅かったためとは思われますが、これから自地区での活動、企画等を充実させたいという意気込みもできました。きっと、国際ロータリー第2820地区のローターアクターの皆様も、外からのロータリアン、ローターアクターを歓迎し、おもてなしすることを通して、自地区の仲がより深まった事と思います。準備をしていく中で大変だった事、衝突した事もあったとは思われますが、その日々を懐かしみつつこれからの活動をより積極的に行なっていくことができるを願っております。

最後に、この経験を糧に、3年後、第33回全国ローターアクト研修会の開催準備を益々頑張っていきたいと思います。3年後、沢山の方にお会いできることを今から楽しみにしています。

『第30回全国ローターアクト研修会に参加して』

国際ロータリー第2510地区
赤平ローターアクトクラブ 鈴江 凌

率直な感想としては、参加人数がとても多い第2500地区の地区大会（記念プログラムがあるため）のようだなと感じました。

ただ、流れや、やっていることは特別なことは無くても、これだけ多くの参加者がいると多くのことに気を配り想定して準備を進めていたことが、当日の登録セットに入っていた注意事項読んでみるとよくわかりました。

当日は、最初に関会式が行われました。ここでは最初に県内の高校のマーチングバンド部による演奏で会場を盛り上げるという工夫がされていました。

次に記念プログラムが行われました。記念プログラムは、『食』『自然』『伝統』『歴史』『人』の5つのコースがあり、私は『歴史』コースに振り分けられました。『歴史』コースではJAXA（宇宙航空研究開発機構）から講師を招き宇宙開発についての講演がメインに行われ、他にも茨城県の歴史の紹介や茨城県の歴史クイズなどが行われ、大変楽しくためになるプログラムでした。

その後ホテルへのチェックインを済ませるための空き時間がありました。

そのあとの懇親会では、お笑い芸人を呼んだり、各地区の動画を撮ってそれをつないで一本の動画にしたり、盛り上げるための工夫がされていました。

その後、会場を移して二次会が行われ、1日目は終了となります。

2日目は代表者会議に出ない参加者は『魂を揺さぶる生涯忘れない90分』というタイトルの講演を聞くことになっていたのですが、興味を惹かれるタイトルだったのでプログラムで読んだ時から気になっていたのですが、実際に聞くと予想以上にためになる話でした。

最後は閉会式が行われ、あいさつや講評各地区の次年代表たちの決意表明などがあり最後に記念撮影をして全日程終了となりました。

今後のことを考えると今回私たち第2510地区も3年後に全研開催のホストが控えている立場として、多くのアクターが参加したことは、当日の流れやホスト側のもてなし、規模感など学ぶことがいっぱいいい機会だったのでは、と思います。

3月17日から3月18日にかけて茨城県水戸市で行われた全国ローターアクト研修会に参加した私の感想は以上となります。

『第30回全国ローターアクト研修会に参加して』

国際ロータリー第2510地区
赤平ローターアクトクラブ 武田 洋平

3月17日から18日にかけて茨城県で行われた全国ローターアクト研修会に参加させていただきました。

私は初めての全国研修だった為、どんな内容・雰囲気なのか、どういった方々が参加されるのかと緊張半分期待半分で臨みました。 実参加者は数百人という規模で行われる式典はいつものち苦行時の式典とは比べ物にならないくらいの迫力でした。

式典開始オープニングアクトとして演奏されたマーチングバンドやプログラム、懇親会や二次会どれをとっても参加ローターアクターの為を思った内容でした。

特に懇親会の立食というシステムは席が決まってない分、気兼ねなく色々なテーブルのアクターと交流することが出来るため、全国規模の行事でのスタイルとしては大変意義のある時間を過ごすことが出来るんだと実感することが出来ました。初めて行った土地で行われる初めて参加した行事でたくさんの仲間が出来ました。日常生活において知り合うことの出来ない人たちと交流が出来るのもローターアクトの良さだと思っています。

そしてその良さを最大限引き出すことが出来るのもこの行事だと思いました。ここで知り合った方々とはこれからも何かしらの形でつながっていくと思うと私の人生にかなりの影響を与えているんだと感じました。大変楽しく、勉強になる二日間でした。

あと数年後私たちがホストとして全国研修会を開催となった時に、自分たちならどの様な内容を皆さんに提供できるのか、どの様なおもてなしが出来るのか。私が参加して感じた思いを参加者の皆さんと共有出来るかどうか。私は来年度で卒業になりますが、今回の経験を活かし、後輩たちに伝えていく事が大切だと思いました。

これからに向けてアクター同士が協力しあい、この大きな行事を達成させられる様に頑張っていきたいと思います。地区全体の会員数の減少が見られる昨今ですが、人数の増加も視野に入れ、なおかつ最悪な自体を想定し、最善の策を練られる様に心がけ、これらのローターアクト人生を過ごしていけたらと思います。参加された皆様二日間お疲れ様でした。

『第30回全国ローターアクト研修会に参加して』

国際ロータリー第2510地区

千歳ローターアクトクラブ 青野 弘稔

今回、第30回全国ローターアクト研修会に参加できてとても良かったと思います。仕事柄農業をしているとなかなか道外へ行くことができません。なので今回とても楽しみで修学旅行に行くようなわくわく感がありました。

茨城県へは今回初めてで気温も10℃をこえ、北海道から比べるととても暖かくもう春の気候でした。空港から水戸駅までのタクシーから見える景色、見慣れない瓦屋根や畑で作業している農家さんを見て茨城県へ来たのだなと実感がわきました。会場付近には、ホストクラブの皆さんが黄色のジャンパーを着て会場への誘導を行っていました。会場である県民文化センターに到着すると日本各地のローターアクトの方々が集まっていたので人の多さに圧倒された。人混みが苦手なのもあり緊張していました。

開会と共に大洗高校マーチングバンドによる演奏とパフォーマンスが始まり、全国大会でグランプリに輝いたパフォーマンスは圧巻でした。その後、開会式を終えると5つの[食・自然・歴史・伝統・人]のプログラムに別れ研修を行いました。私は人プログラムに参加し、「カミスガプロジェクト」という、市民目線でのまちづくりについての貴重な話をカミスガプロジェクト代表理事である菊池一俊さん本人から聞くことができました。さらに後半ではQRコードをスマホで読み取り「教えて菊池さん！」というページにとび、そこで菊池さんに聞いてみたい項目が4つあり聞きたい項目を選択して送信するとその場で集計され会場にいる人がいま一番聞いてみたいことがグラフ化されて、その結果をもとに話を進めていきました。何に興味あるのか%で表示されるのでこのシステムはとてもおもしろく斬新だと思いました。他のプログラムに参加した人達から話を聞くとどれも楽しそうで茨城県の良さを伝えられている内容だったようです。

夜には懇親会。広い会場にも驚きましたがそれよりも人数の多さにさらに驚かされました、人混みが苦手な私ははじめは人酔い気味でした、がお酒も入り、各地のアクトの人と話しているうちに緊張もとけていきました。さらにスペシャルゲストとして茨城県出身のお笑い芸人カミナリが登場！笑わせてもらいました。2時間歩き回り色んな方々と話をする機会などアクトに入らなければなかったと思います、今回できた繋がりは今後必ずプラスになると感じました。

この日は3時まで飲んでしまいました、朝早くからの移動や人混みでの緊張、交流する楽しみ、1日目はとても濃密な時間を味わえました。

2日目は基調講演として木下晴弘さんによる「魂を揺さぶる生涯忘れない90分」を聞きました。内容も話し方もとてもうまくてすぐに話に引き込まれてあっという間の90分でした。

そして閉会式、実行委員長の挨拶を聞いてこの2日間のために何ヵ月も前から準備を進め、いかに茨城県の良さ、魅力を伝えられるか考え話し合い作り上げられた2日間だったのだなと感じました。ホスト地区の皆さんには感謝の気持ちで一杯です。本当にお疲れさまでした。茨城県の良さ魅力伝わりました。

2日間という短い時間でしたがとても長く感じることができました。今回一緒に行動を共にした第2510地区の皆さんともより仲良くなれたと思っています。

次年度は、福岡県での全研。農作業の忙しい時期とぶつかってしまいますが、もし行けるのであれば今回のテーマでもあった『SAIKAI』を全国の皆さんとしたいと思います。

『第30回全国ローターアクト研修会に参加して』

国際ロータリー第2510地区

千歳ローターアクトクラブ 森 琢哉

3/17,18日と2日間に渡り、茨城ローターアクトクラブの皆様、本当にお疲れ様でした。千歳ローターアクトクラブに所属して間もない私ですが、全研の存在意義や目的が明確でないまま、参加させて頂きました。自分の意思では道外に行こうと思わない中でこの様な場を設けて頂き、感謝しております。

全研の感想を一言で言い表すなら"大人の修学旅行"です。休日は怠けていることが多い私にとっては遊び疲れたと言っても良い程充実した2日間でした。常日頃から頭を働かせているわけではありませんが、この2日間は更に働かせず、決められたプログラムに参加し、決められた集合時間を守り、決められたスケジュールで動いていきました。ロータリアンという引率の先生のような存在もあり、中高生時代の修学旅行そのものを体験したような感覚でした。

大学を卒業し、社会人経験を数年経て、学生時代の友達とも疎遠になっていく中で、日本全国の30歳以下の男女との交流は本当に貴重な経験で、刺激的だと思います。

私は営業職という仕事柄、多くの人との出会いがありますが、それらはほぼ利害関係がある人との関わりばかりで、どんなに親しい間柄でも利害が絡むことで関係性は良くなったり、悪くなったりもします。しかし、ローターアクトクラブの魅力の1つとして、利害関係のない人と多くの交流が出来ることがあります。趣味を持っている人間がコミュニティを形成し、お互いに承認し合うことで自分の人生の幸福度を上げていくようなものに近いです。これは個人が持っているスキルや学歴、職歴など関係なく、人対人の純粋なコミュニティであると改めて感じました。

今回の全研では稚内RACの方々と私が一人で飲む機会があり、内部事情や個々の関係性を聞いていく中で、人の繋がりという意味の本質に迫れたような気がしました。ローターアクトクラブは目に見えない人同士の関係性で複雑に絡み合っている組織であり、それらに善や悪もなく、誰も意図していない自然な流れで出来上がっているということです。これはローターアクトクラブ以外の組織形成の仕組みを知る上でも共通することなのではないかと感じました。また、俗に中小企業の会議は、参加している全ての人間が各々の意見を発言して初めて会議だとも言われておりますが、ローターアクトクラブではステージの上に立つ人の発言を聞いて会議と呼ぶ場面に遭遇することがあります。その点に関して、全研に参加する以前は何故それが会議と呼ぶのか疑問でしたが、同じ組織に属する人間がその場にはいないとわからない空気感や考えがその場で生まれて、違う場で他者に伝えることが出来ることから、会議と呼ぶのではないかと感じました。

印象的だった事と致しましては、2日目の木下様の講演です。前日に遅くまで飲んでいたり、講演中に寝てしまおうという考えを持って会場に入りましたが、講演中は一切眠くなることなく、聞き入ってしまうほど素晴らしい内容でした。目標と目的の意義の違いを明確に区分する重要性や、人間の根源的な幸せとは何かを考えさせてくれる内容でした。この講演は今後の私の人生の多くの選択肢の中で必要とされる判断材料の1つになりました。

帰宅後、交換した名刺の数を数えると50枚。2日間でこれだけの名刺を頂くのは私にとっては多い枚数で、今後、私の人生でどのくらいあるかわかりませんが、これだけ多くの人と多かれ少なかれ面識を持つことはないと感じました。

思い出せる人もいれば、思い出せない人もいます。名刺を頂いた際に、その情報を見て相手に対してどのくらい興味を持てたのか、共通点や生い立ち、名刺から引き出せる情報、交換のタイミング事などが悪かったりで思い出せない方もいますが、場数を踏むという点においては営業職の経験値が増えた良い機会です。

私にとって人生は修行の一部であるという考えがあり、今回の全研は"修"行をしながら"学"び、人生を"旅"するために必要な"行"動は何かを会得するきっかけになったのではないかと感じました。本当に2日間ありがとうございました。

オフショット



赤平組は前泊しました



新千歳空港で全員集合！



朝から元気いっぱい！



ずっとしゃべっていました



当地区飲み要員の一部



夜中3時まで歌ったらしい...



副代表が好きな写真らしい



帰りに偕楽園に寄れました



約1名ツボにハマった写真



◆発行年月◆ 2018年5月

◆発行元◆ 国際ロータリー第2510地区

ローターアクト地区広報

深貝 友香梨（札幌幌南RAC）